

平成24年度 中間決算の概要

1 新契約の状況	1 ページ	5 資産運用の状況	5 ページ
2 保有契約の状況	2 ページ	6 基礎利益の状況	7 ページ
3 損益の状況	3 ページ	7 健全性の状況	8 ページ
4 資産・負債の状況	4 ページ		

株式会社 かんぽ生命保険
平成24年11月14日

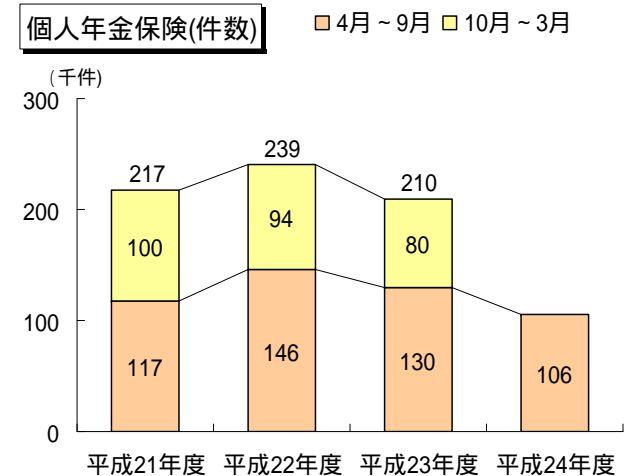
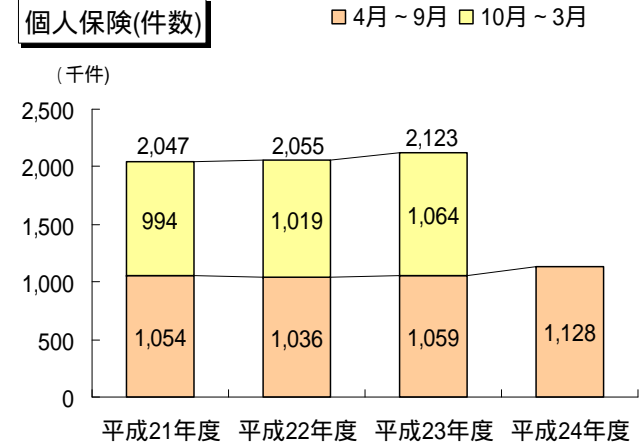
データは、いずれも単体ベースのものとなっております。

1 新契約の状況

平成24年度中間期の新契約は、個人保険が112万8千件、金額3兆3,245億円、個人年金保険が10万6千件、金額3,678億円となりました。

(単位:件、百万円(単位未満四捨五入))

	平成24年度中間期 (平成24年4月～平成24年9月)		平成23年度中間期 (平成23年4月～平成23年9月)		平成23年度 (平成23年4月～平成24年3月)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
個人保険	1,128,291	3,324,466	1,059,338	3,098,037	2,123,253	6,215,473
普通終身	156,461	537,810	149,937	517,248	296,218	1,022,704
定額型	35,884	91,222	32,653	83,750	65,233	166,168
倍型	120,577	446,588	117,284	433,498	230,985	856,537
特別終身	119,336	383,426	98,953	310,653	203,428	644,775
普通定期	298	685	393	870	760	1,658
普通養老	494,015	1,298,713	461,822	1,195,479	911,498	2,373,656
特別養老	242,273	982,407	233,204	954,398	469,639	1,921,625
特定養老	7,574	7,338	11,678	11,586	20,214	19,992
学資保険	108,334	114,089	103,351	107,803	221,496	231,064
個人年金保険	105,736	367,802	129,943	443,110	210,226	721,930
終身年金	-	-	263	2,371	271	2,425
定期年金	105,736	367,802	129,680	440,739	209,955	719,505



2 保有契約の状況

かんぽ生命の保有契約は、個人保険 8 9 8 万件、金額 2 5 兆 9 千億円、個人年金保険 9 9 万件、金額 3 兆円となっております。

独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構から受再している契約は、保険 2 , 8 9 5 万件、金額 7 9 兆 8 千億円、年金保険 4 1 0 万件、金額 1 兆 5 千億円となっております。

(単位:件、百万円(単位未満四捨五入))

(単位:件、百万円(単位未満四捨五入))

	かんぽ生命の保有契約			
	(保険者:株式会社かんぽ生命保険)			
	平成24年9月末		平成24年3月末	
	件数	金額	件数	金額
個人保険	8,976,905	25,860,562	8,018,950	23,043,182
普通終身	1,285,355	4,358,104	1,158,623	3,930,769
定額型	247,412	619,846	215,150	538,186
倍型	1,037,943	3,738,258	943,473	3,392,583
特別終身	709,482	2,185,116	600,042	1,832,563
普通定期	3,024	12,547	2,964	11,866
普通養老	3,826,495	9,662,551	3,402,705	8,588,915
特別養老	1,984,404	8,117,896	1,784,809	7,320,512
特定養老	83,409	117,918	77,595	103,686
学資保険	1,084,020	1,403,609	991,464	1,251,901
上記以外	716	2,821	748	2,970
個人年金保険	987,701	3,047,041	887,329	2,781,529
終身年金	13,150	103,481	13,524	107,217
定期年金	974,539	2,943,478	873,792	2,674,223
夫婦年金	12	82	13	89

	【参考】受再している簡易生命保険の契約			
	(保険者:独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構)			
	平成24年9月末		平成24年3月末	
	件数	金額	件数	金額
保険	28,954,321	79,800,607	31,015,777	85,854,161
普通終身	4,733,946	10,811,576	4,842,037	11,050,555
定額型	2,066,385	4,749,622	2,092,778	4,811,126
倍型	791,485	2,244,578	816,747	2,326,522
特別終身	5,364,755	13,100,740	5,467,638	13,305,206
普通定期	3,269	16,556	3,961	19,457
普通養老	6,966,079	17,116,543	7,842,037	19,239,816
特別養老	5,685,833	26,479,579	6,300,304	29,266,282
特定養老	92,030	165,963	102,585	185,921
学資保険	5,109,557	9,318,032	5,408,877	9,888,866
上記以外	998,852	2,791,618	1,048,338	2,898,057
年金保険	4,101,180	1,519,076	4,393,202	1,628,466
終身年金	1,311,818	414,186	1,323,997	417,970
定期年金	2,660,929	1,069,602	2,940,403	1,175,115
夫婦年金	128,335	35,286	128,704	35,379

注 簡易生命保険契約の計数については、独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構における公表基準によるものです。そのため、かんぽ生命契約と簡易生命保険契約については、単純に比較することはできません。

3 損益の状況

平成24年度中間会計期間の損益は、経常収益5兆9,580億円、経常費用5兆7,018億円、経常利益2,562億円となりました。

経常利益に、特別損益として価格変動準備金繰入額129億円等を加減し、契約者配当準備金として1,546億円を繰り入れた結果、税引前中間純利益は871億円となり、中間純利益は490億円となりました。

	平成24年度 中間会計期間 (H24.4.1～H24.9.30)	平成23年度 中間会計期間 (H23.4.1～H23.9.30)	差額 -	平成23年度 (H23.4.1～H24.3.31)
経常収益	59,580	63,698	4,117	125,386
保険料等収入	33,352	35,663	2,311	68,564
資産運用収益 (注1)	7,888	8,066	178	16,317
その他経常収益	18,340	19,968	1,628	40,503
責任準備金戻入額	17,911	19,195	1,283	40,209
経常費用	57,018	61,399	4,380	120,072
保険金等支払金	53,653	57,943	4,290	113,384
責任準備金等繰入額 (注2)	48	74	26	133
資産運用費用 (注3)	415	397	17	630
事業費	2,512	2,584	71	5,160
経常利益	2,562	2,299	262	5,313
特別利益	1	69	68	-
特別損失 (注4)	145	15	129	504
契約者配当準備金繰入額	1,546	1,605	59	2,719
税引前中間純利益	871	747	123	2,089
法人税等合計	380	301	79	1,412
中間純利益	490	445	44	677

(単位:億円(単位未満切捨))
主な科目について掲載しております。

注1 資産運用収益は、利息及び配当金等収入7,563億円、有価証券売却益324億円等です。

注2 責任準備金等繰入額は、契約者配当金積立利息繰入額48億円です。

注3 資産運用費用は、有価証券評価損164億円、金銭の信託運用損161億円、有価証券売却損56億円等です。

注4 特別損失は、価格変動準備金繰入額129億円、グループ再編関連費用4億円等です。

4 資産・負債の状況

総資産は、平成23年度末比1兆8,014億円減少し、9兆1兆8,871億円となりました。

純資産は、利益剰余金及びその他有価証券の含み益が増加したことにより、1兆3,399億円となりました。

	平成24年度 中間会計期間末 (H24.9.30)	平成23年度末 (H24.3.31)	差額 -
資産	918,871	936,886	18,014
現金及び預貯金	8,819	12,249	3,430
金銭の信託	1,937	2,427	490
有価証券	738,516	745,871	7,355
国債	583,451	599,621	16,170
地方債	84,204	77,779	6,425
社債	64,717	62,275	2,442
外国証券	6,133	6,186	52
貸付金 (注1)	132,497	139,290	6,792
無形固定資産	1,043	1,021	21
繰延税金資産 (注2)	4,233	3,697	535
負債及び純資産	918,871	936,886	18,014
負債	905,472	923,965	18,493
保険契約準備金	867,651	886,510	18,858
退職給付引当金	585	568	16
価格変動準備金	4,711	4,582	129
純資産	13,399	12,920	478
資本金	5,000	5,000	-
資本剰余金	5,000	5,000	-
利益剰余金	2,670	2,348	321
その他有価証券評価差額金	728	571	157

(単位:億円(単位未満切捨))

主な科目について掲載しております。

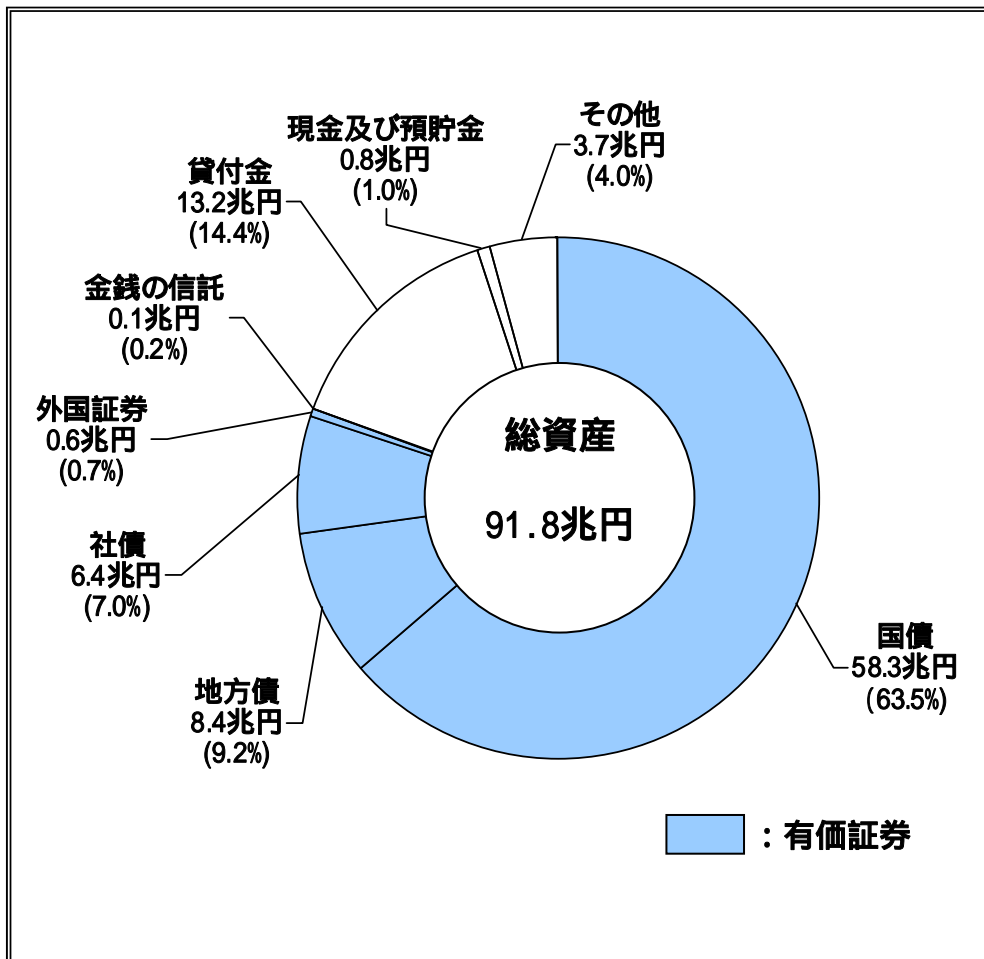
注1 貸付金の内訳は、機構貸付 12兆5,996億円、一般貸付 6,228億円、保険約款貸付 272億円です。

注2 繰延税金資産の主なものは、責任準備金 3,227億円、支払備金 456億円等の将来減算一時差異に係るものです。

5 資産運用の状況

資産運用は、国債を中心とした有価証券が73兆円、貸付金が13兆円等で平成24年度中間会計期間末の総資産は、91兆8千億円となっております。

1 資産構成（平成24年度中間会計期間末現在）



2 総資産の推移

	平成24年度 中間会計期間末 (H24.9.30)	平成23年度末 (H24.3.31)	平成22年度末 (H23.3.31)	平成21年度末 (H22.3.31)
総資産	91.8兆円	93.6兆円	96.7兆円	100.9兆円

3 運用利回りの推移

	平成24年度 中間会計期間 (H24.4.1 ~ H24.9.30)	平成23年度 (H23.4.1 ~ H24.3.31)	平成22年度 (H22.4.1 ~ H23.3.31)	平成21年度 (H21.4.1 ~ H22.3.31)
運用利回り	1.61 %	1.66 %	1.64 %	1.58 %

注 運用利回りは、キャピタル損益等を含めた利回りです。

5 資産運用の状況

満期保有目的の債券及び責任準備金対応債券を含めた有価証券全体では3兆9,338億円の含み益となっております。
 その他有価証券では1,054億円の含み益となっております(税効果適用後は728億円)。

4 含み損益の状況

	平成24年度中間会計期間末 (H24.9.30)		平成23年度末 (H24.3.31)	
	帳簿価額	含み損益 (税効果適用前)	帳簿価額	含み損益 (税効果適用前)
合 計	74兆 4,787億円	3兆 9,338億円	75兆 6,561億円	3兆 3,494億円
満期保有目的の債券	43兆 5,984億円	2兆 5,553億円	44兆 4,449億円	2兆 888億円
責任準備金対応債券	24兆 597億円	1兆 2,729億円	24兆 8,122億円	1兆 1,777億円
その他有価証券	6兆 8,205億円	(注1) 1,054億円	6兆 3,989億円	(注2) 827億円
有価証券等	6兆 6,215億円	1,107億円	6兆 1,560億円	828億円
金銭の信託	1,989億円	52億円	2,428億円	1億円

注1 税効果適用後の金額は、728億円になります。

注2 税効果適用後の金額は、571億円になります。

5 金銭の信託で保有する株式の含み損益がゼロになる株価水準

	平成24年度中間会計期間末 (H24.9.30)	平成23年度末 (H24.3.31)	平成22年度末 (H23.3.31)	平成21年度末 (H22.3.31)
日経平均株価	9,200円	9,900円	10,100円	8,900円

(参考) 日経平均株価、円相場、円金利(10年国債)の推移

	平成24年度中間会計期間末 (H24.9.30)	平成23年度末 (H24.3.31)	平成22年度末 (H23.3.31)	平成21年度末 (H22.3.31)
日経平均株価	8,870円	10,083円	9,755円	11,089円
円ドル	77.60円	82.19円	83.15円	93.04円
円ユーロ	100.24円	109.80円	117.57円	124.92円
円金利(10年国債)	0.765%	0.985%	1.255%	1.395%

6 基礎利益の状況

平成24年度中間会計期間の基礎利益は3,010億円となりました。

逆ざやが129億円発生しておりますが、死亡率・入院率の低下等による利益である「危険差益」、事業の効率化による利益である「費差益」によりカバーされ、三利源を合計した基礎利益はプラスとなっております。

平均予定利率は1.89%で、利子利回り1.85%との差は0.03%です。

基礎利益の内訳（三利源）

	平成24年度 中間会計期間 (H24.4.1～H24.9.30)	平成23年度 中間会計期間 (H23.4.1～H23.9.30)	差額 -	平成23年度 (H23.4.1～H24.3.31)
基礎利益	3,010 億円	2,876 億円	134 億円	5,716 億円
危険差益	2,058 億円	2,044 億円	14 億円	3,819 億円
費差益	1,081 億円	1,297 億円	215 億円	2,512 億円
利差益(逆ざや)	129 億円	465 億円	335 億円	615 億円

(参考) 基礎利益上の平均予定利率

	平成24年度 中間会計期間 (H24.4.1～H24.9.30)	平成23年度 中間会計期間 (H23.4.1～H23.9.30)	差 -	平成23年度 (H23.4.1～H24.3.31)
平均予定利率 (注1)	1.89 %	1.91 %	0.03 %	1.91 %
利子利回り (注2)	1.85 %	1.80 %	0.05 %	1.83 %

注1 平均予定利率は、予定利息の経過責任準備金に対する利回りのことです。

経過責任準備金は、危険準備金を除いた責任準備金により次の式で計算しています。(期始責任準備金+期末責任準備金-予定利息)×1/2

注2 利子利回りは、基礎利益上の運用収支(キャピタル損益を含まない運用収支)等の経過責任準備金に対する利回りのことです。

7 健全性の状況

平成24年度中間会計期間末では、危険準備金2兆7,339億円及び価格変動準備金4,711億円を合わせた3兆2,051億円を内部留保として積み立てております。

逆ざや等を補填するための追加責任準備金を6兆2,590億円積み立てております。

1 内部留保の積立状況

	平成24年度 中間会計期間末 (H24.9.30)	平成23年度末 (H24.3.31)	平成22年度末 (H23.3.31)	平成21年度末 (H22.3.31)
危険準備金	2兆7,339億円	2兆7,837億円	2兆8,859億円	2兆9,506億円
限度額(充足率) (注)	2兆9,774億円 (92%)	3兆479億円 (91%)	3兆108億円 (96%)	3兆1,623億円 (93%)
価格変動準備金	4,711億円	4,582億円	4,096億円	4,214億円
限度額(充足率) (注)	7,774億円 (61%)	7,871億円 (58%)	4,096億円 (100%)	4,214億円 (100%)
内部留保合計	3兆2,051億円	3兆2,419億円	3兆2,956億円	3兆3,720億円

注 平成23年度末より、限度額の算出基準が変更となっております。

2 追加責任準備金の積立状況

	平成24年度 中間会計期間末 (H24.9.30)	平成23年度末 (H24.3.31)	平成22年度末 (H23.3.31)	平成21年度末 (H22.3.31)
追加責任準備金	(注) 6兆2,590億円	6兆3,053億円	6兆4,132億円	6兆5,400億円

注 独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構の受再保険の終身年金等を対象に、責任準備金を平成22年度末より10年間にわたり新たに追加して積み立てることとしており、平成24年度中間会計期間に積み立てた額は852億円となります。

3 ソルベンシー・マージン比率及び実質純資産

	平成24年度 中間会計期間末 (H24.9.30)	平成23年度末 (H24.3.31)	平成22年度末 (H23.3.31)	平成21年度末 (H22.3.31)
ソルベンシー・マージン比率 (注)	1,364.3 % -	1,336.1 % -	1,153.9 % (1,821.6 %)	- (1,663.9 %)
実質純資産	8兆6,896億円	8兆836億円	6兆9,056億円	6兆5,987億円

注 ソルベンシー・マージン比率は、上段に平成23年度末より適用された基準に基づく数値、下段にそれ以前の基準に基づく数値を記載しております。